

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
2024 年度 第 5 回事業普及委員会議事概要

- I. 日時： 令和 6 年 1 月 15 日（金）18:00~20:00  
場所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局（Zoom によるオンライン会議）
- II. 出席者 今泉委員長、波多野委員、尾崎委員、西浦委員、木村委員、歌代委員、向殿担当理事  
（すべてネット出席）  
事務局：井端事務局長、中村
- III. 検討内容
1. 2024 年度機関誌 No.3、No.4 合併号の企画について  
本協会は、今年度末で事業を終結することが濃厚となったため、次号は「No.3、No.4 合併号」とすることとした。
- (1) 巻頭言は、日本大学に依頼することにした。
- (2) 次号の特集は、「対面・ICT 活用による問題発見・課題探求型 PBL の推進・普及」とし、先進的な取り組みを行っている以下に出稿依頼を行い、依頼先の承諾を得て掲載することを確認した。
- ・「地域課題解決型 AI 教育プログラムにおける産学連携 PBL の取り組みと成果・展望」（仮題）  
久留米工業大学 小田 まり子 氏
  - ・「海外の学生とオンラインで解決策等を議論する『国際産官学連携 PBL(A)』の取り組みと成果・展望」（仮題）南山大学国際センター
  - ・「企業課題を学生と協働で課題解決に取り組む社会連携教育プログラム(PBL)の特徴と成果・展望」（仮題）早稲田大学教育連携課
  - ・「ICT 活用による分野横断型多職種連携 PBL 実験授業の取り組みと成果・課題」（仮題）  
医療系フォーラム型実験小委員会主査 片岡 竜太 氏
  - ・「PBL 教育の質的高度化を目指す三重大学『PBL セミナー』の取り組みと成果・展望」（仮題）  
三重大学高等教育開発デザイン・IR センター PBL プロジェクト代表 下村 智子 氏
- (3) 「数理・データサイエンス・AI 教育の紹介」は、令和 6 年度に「(リテラシーレベル)プラス」および「(応用基礎レベル)プラス」に選定された大学の取り組みを、「その 8」として紹介することとした。
- 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(リテラシーレベル)プラス：  
①東京工業大学（現 東京科学大学）、②信州大学、③広島大学、④西南学院大学、⑤サイバー大学
- 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(応用基礎レベル)プラス：  
①群馬大学、②千葉大学、③宮崎大学、④豊田工業大学、⑤佐賀大学(理工学部)、⑥北海道医療大学(医療技術学部)
- (4) 「私情協ニュース」は、以下を掲載することを確認した。
- ・2024 年度 ICT 利用による教育改善発表会 受賞者決定
  - ・本協会事業終結のお知らせ
  - ・本協会活動成果の情報共有(web)の紹介
  - ・改正個人情報保護調査集計結果
  - ・大学情報セキュリティベンチマークリストの見直し
- (5) 「事業活動報告」は、以下を掲載することを確認した。
- ・2024 年度 ICT 利用による教育改善研究発表会開催報告
  - ・2024 年度 私情協 教育イノベーション大会 開催報告
  - ・令和 6 年度（2024 年度）分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の実施結果
  - ・2024 年度 大学職員情報化研究講習会実施結果
- (6) 応募があった「生成 AI を利活用した授業改善の取り組み」から以下を掲載することを確認した。
- ・機械翻訳および生成 AI を活用した英語リーディング授業実践  
大阪電気通信大学 南津 佳広 氏
  - ・生成系 AI を活用した授業実践と文章制作支援ツール  
城南短期大学 藤本 孝一郎 氏
2. その他（次回の日程について）  
次回は 2024 年度機関誌 No. 3、No. 4 合併号の原稿確認を中心に検討することとし、開催日時は、1 月 28 日（火）18 時より、引き続きネット(ZOOM 会議)にて開催することにした。